



座光寺風景

麻績会館での獅子舞稽古

来たる4月1日(日)の本日^{ほんび}に向けて、若連中の皆さんによる熱の入った獅子舞の稽古風景。春祭りにかける思いが、この真剣な眼差しに表れています。

また、獅子曳き三兄弟の道中を邪魔されないようにと、六角棒を持った天狗とカラス天狗が追い払いに来ます。

そして、越後獅子を演じますのは、切石かなさん(大堤地

待ください。

子曳き三兄弟に、ご期

先導する、梅王・松王・桜丸の三兄弟を演じますのは、梅王・高木夏未^{かみゆき}未^{ゆき}佑^{ゆう}くん(宮崎地区)松王・北澤楓^{かえで}くん(北市場地区)桜丸・塚平陽介^{ようすけ}くん(共和地区)が務めます。

勇壮に舞う獅子舞、獅子曳き三兄弟に、ご期待ください。

暴れる獅子を麻績神社へと

解とご支援を頂き、誠にありがとうございます。

座光寺地域の皆様には、麻績神社若連中の活動に對しまして、日頃より多大なるご理解とご支援を頂き、誠にありがとうございます。

座光寺に春を告げる麻績神社春祭りが、今年は三月三十一日(土)に宵祭り、四月一日(日)に本日の日程で行われます。

受け継ぐ春祭り

麻績神社若連中代表 下原慶介



昨年度の春祭り(駅前にて撮影)

区)森谷玲奈さん(宮崎地区)が務めてくださいます。笛くらぶのお囃子に合わせ、息の合った二人の華麗な舞いをぜひ、ご覧ください。

おかげ・ひよつとこ・げじの個性豊かな役者達も、お祭りを更に盛り上げてくれます。

代々、受け継がれていく、麻績神社春祭りの風景が、皆様の心に残りますよう、若連中一同、頑張つて参ります。

河原会所完成

地域活動の拠点として

三村 道彦

旧河原会所は、地区住民の集会や災害時の第一次避難所としての役割を担い半世紀近く経過したため老朽化も進み、また約二百年前の江戸時代末期の石川除（いしかわよけ）の文化財の指定や県宝化の流れもあり移転建替の検討を始め、計画から三年、この度念願の新築完成となりました。

旧会所は四十四年前、とある家の隠居部屋の移設により地区住民（大工）を中心に建てられ、当時は堤防の見張小屋という名目であつたそうです。

それから地区集会所として住民の語らいを見守りながら時を重ねてきました。

移転新築の話が持ち上がり建設委員会を組織し、各戸積立てを始め、その後、地縁団体を設立、市の助成事業の支援を受け、地主の方のご厚意や地区住民の協力により完成しました。

河原会所は石川除に想いを馳せ、また、春には周りに桜を望む絶好の場所にあります。今後集会所を、地域活動や防災の拠点として有効に活用し



【経緯】

26年11月建設構想生起
27年1月建設委員会設立
28年7月総会にて建設決定
28年8月地縁団体申請
28年8月市補助事業申請
28年9月地縁団体認可
29年4月市補助事業予算化
29年8月集会所整備事業決定
29年10月着工
30年1月竣工、供用開始

（以下、飯田市HPより抜粋）

【石川除】

延長215m、高さ3mの割石二段積堤防。

【水防略史】

下伊那では天正元年（1573）から昭和35年（1960）の388年間に、大きな洪水で51回、中小規模で131回記録があり、特に江戸時代正徳5年（1715）の未満水（ひつじまんすい）は大きな被害を生みました。



宝暦2年（1752）下市田村は惣兵衛堤防を築きこれに跳返された水流が対岸を襲い、文化6年（1809）伴野村は伴野村堤防を築き、それに跳返された水流が今度は座光寺村を襲います。

座光寺村は文政3年（1820）と、天保2年（1831）に護岸工事で石川除を築き、その後明治元年（1868）改修、以降各堤防を結び強化、明治24年（1891）南大島川に新たに堤防を築き河道が変わり現在に至ります。

惣兵衛堤防や伴野堤防は三六災害で流失も、石川除は堤防の他、水門や水見台も当時のまま残る貴重な歴史遺産です。

第55回飯田市民館大会

女性委員の会を立ち上げて 原田 薫

去る二月十八日に飯田市民館大会が開かれ、事例発表という事で行つて参りました。

『日頃の公民館活動を見つめ直し、新たな想いを持つて地域に必要なものは何かを考えよう、マンネリ化しつつある活動を見直そう！』という事で新たな活動を始めた公民館女性委員の会の立ち上げについて発表してきました。

なぜ立ち上げる事になったのか？そのきっかけがいくつかありました。

①小布施の方からの話
女性の参加が少ない。↓女性が元気に活躍できる場を。

②観光客に言われた『座光寺にはご当地グルメはないの？』↓地元の食材で名物を作ったらどうか？

③地元のお宝、地域資源はあるが女性が喜ぶものがない。観光地は女性が動く↓男性がついてくる↓子供もついてくる↓それで人が集まり成り立っているんだと。

どれをとっても座光寺にはないものばかり…。でも何かやってみまい、動き

ださやが始まらんにて女性委員の会が立ち上がりました。

『座光寺に名物を作ろう！』で今、活動しています。地域の行事に積極的に参加する事で知名度も上がってきて、野菜、果物、そば粉等提供して頂いたり、次は何やるの？と期待してもらつたりでありがたい事です。

今まで普通にこなしてきた公民館活動がちよつとしたきっかけで新たな展開となり、活動の場も増えました。

女性委員会のモットーは、『自分達から楽しもう！』です。楽しく活動しつつ、女性のパワーで地域を盛り上げていきたいらなと思っております。



活動について発表する原田さん

平成29年度
麻績の里

種まき大賞

麻績楽農隊 様

「遊休農地の活用を図ろう」という想いから活動を始められ、お米を作って提供されたり、農業実習体験を受け入れたり、長年にわたって、活動を続けられています。

最近では、飯田コミュニティスクールにかかわっての座光寺小学校・学校支援ボランティアとして、学年や学級の農業体験の支援に取り組まれています。

地域の子どもは地域で育てる活動として有意義な活動です。

「麻績の里種まき大賞」を

受賞して

麻績楽農隊 古井 武志

今年の文化祭において「麻績の里種まき大賞」を頂きました。大変光栄なことで嬉しいことです。楽農隊は二十六年のメンバーでちょうど十年前に発足しました。『遊休田園を無くそう。自然環境や景観を守ろう。』という事で結成されたグループです。隊員



受賞のあいさつをする古井さん

は多士済々で平均年齢はかなりの高齢です。女性も一人います。和気あいあいと仲良くやっています。お米作りを中心に農業実習体験生を受け入れて、田植え、稲刈り、野菜の収穫体験などに取り組んでいます。

今回の受賞理由は、コミュニティスクール事業に関わっての座光寺小学校・学校支援ボランティアとして学年や学級の農業体験の支援に取り組み、地域の子どもは地域で育てる活動として有意義なものと評価されたと受けとめています。年齢的にこの先いつまで続けられるかという問題もありますが出来るだけ頑張りたいと思っています。

座光寺の名物をつくろう！

大成功した地域づくりフォーラム

二月三日、文化祭一日目に、恒例の地域づくりフォーラムが開催されました。

今年度のテーマは「座光寺の名物をつくろう」と題して、座光寺の名産品を使用した料理コンテストが開催されました。

昨年までの「話すだけ」とは全く異なるこの趣向に、例年を大きく上回る七十人余の皆さんが参加しました。

コンテストには、七品目の工夫を凝らした料理が出品され、市田柿やりんごなどの座光寺の農産品はもちろんのこと、水辺の広場にある「クルミ」に着目した「干し柿のチーズディップ」などは、味に加え栄養に配慮し、座光寺に対する思いも込めるなど、どれも力作揃いでした。

参加者による投票の結果、子供の部は「ふじりんごのおいしいピザ」を出品した椎谷あやかさん、大人の部は「麻績の華」を出品した三村真由美さんが大賞を受賞しました。

座光寺の名物をつくらう！コンテスト

地域づくりフォーラム
実行委員長 佐々木君子

今年の地域づくりフォーラムは、『座光寺の名物をつくらうコンテスト』を開催しました。地元食材を使った七品の応募レシピの料理を参加者に試食してもらい、子ども部、大人の部でそれぞれ大賞、準大賞を選出しました。

出品された方々は、ただの料理コンテストではなく、座光寺の名物をつくらうという強い思いを持つての参加でした。また、参加者も実際に食べてみる事で感想や意見が出やすくなり、会が盛り上がる事が出来ました。座光寺の名物づくりの為に、これから今回のようなコンテストを開催する事が望ましいという意見が多く聞かれました。



どれも美味しそうな作品ばかり

楽しかったコンテスト

椎谷あやか

私は座光寺のふじりんごがおいしくて大好きです。なので名物を作ろうコンテストにさんかし子どもの部大賞をもらえてうれしかったです。ギョウザの皮にピザソースを広げてベーコン、りんご、チーズをのせてオーブンでやきました。妹たちも手伝ってくれて楽しかったです。りんごの生がシャキシャキしておいしいと、し食をしたおじさんに言ってもらえてうれしかったです。

コンテストで受賞して

三村真由美

私は、ゆず、しょうが、市田柿を芯にして大根スライスを重ね巻いて漬け込み、大根スライスを八重咲の花に見立てた「麻績の華」を出品しました。これは座光寺に咲く花をイメージし、麻績の里が賑わい華やぐ地域になれば！と想いを込めました。コンテストでは皆様方から、様々な評価を頂きまして恐縮ですが受賞する事ができました。今後は地域の皆様に知って頂き、作って頂いて、座光寺の名物になって行けば嬉しいです。

平成29年度 座光寺地域文化祭

2月3日(土) 4日(日) の2日間、座光寺地域文化祭が開催されました。各種団体の皆さんの活動発表や作品の展示。毎年恒例になった風越高校書道部の書道パフォーマンスに加え、今年は飯田女子短期大学茶道サークルによる「お茶席」やパノラマファーム大門の方々による「そば打ち体験」も行われました。両日ともに好天でしたが、冷たい風が吹く中、両日とも多くの皆さんにご来場いただきました。



壮年団の五平もち



毎年大盛況の屋台



館内展示作品



室内版カーリングの
「カローリング」体験



毎年恒例の福祉バザー



飯田女子短大、茶道サークルの皆さんによる野点体験





座光寺小学校金管バンド



飯田女子高校吹奏楽クラブ



飯田風越高校書道部



種まき大賞受賞「麻績楽農隊」の皆さん



音山野サクソフォーンアンサンブル



今年初参加の座光寺剣道クラブの皆さん「基本稽古」



冬季スポーツ大会 種目が増えて 交流広がる

三月四日(日)、体育部主催の冬季スポーツ大会が開催されました。本年度は、復活したソフトバレーボールに、囲碁ボール、スローインボトルを加えた三競技で行われ、各地区から、のべ三十三チームが出場しました。

競技が増えたことにより、普段からスポーツに親しんでいる人はもちろん、普段はあまりスポーツをしない方、保育園に通う子供から高齢の方まで様々な方が参加でき、大会を通じて地域の親睦を図るとても良い機会となりました。

(広報篠田)

冬季スポーツ大会を終えて

体育部長 長尾 浩一

三月四日(日)今年度最後となる冬季スポーツ大会を開催しました。多数の地区の方に参加していただきまして、ありがとうございました。

公民館体育部では、ニュースポーツを通して地区の親睦を深める機会として毎年開催



スローインボトル



ソフトバレーボール

しています。

地区の皆様楽しんでいただけたでしょうか？何かやってみたい競技がありましたらご意見いただければと思います。

最後になりますが、一年間体育部行事に参加していただきまして、ありがとうございます。来年度も地区の皆様楽しんでいただける競技を考えていきたいと思っておりますので協力お願いいたします。



囲碁ボール

平成29年度 冬季スポーツ大会 結果一覧

	ソフトバレーボール	囲碁ボール	スローインボトル
優勝	共和	高岡	宮の前
準優勝	大堤	唐沢	唐沢
3位	上野	北市場	河原
		大堤	高岡

飯田市 コーラス発表会

飯田市内のコーラスグループが集う発表会が、二月二十五日飯田市公民館にて開催されました。今年初めて参加の日本語を勉強中の外国の方ばかりの国際的なグループや、半世紀以上も続けているベテランのグループ等、

いろんな個性を持った十八グループがステージに立ち、発表しました。座光寺からは私達、コールブリランテが参加しました。



先生、そして気持ちを一つにして一緒に歌える仲間達に本当に感謝です。また、いつも思うのですが、発表の時の心地良い緊張感と発表後の何ともいえない達成感は、他では味わえない特別なものです。発表している方も聴いている方も感動がいっぱいのひとときでした。オリンピック最中の開催ということで、言うなら

この日は皆さんがそれぞれピカピカの「金メダル」でした。

さて、この発表会は市の公民館と参加者でつくる実行委員会が主催しています。今年私は副実行委員長。そして来年は実行委員長の当番が回ってきます。今年

参加できなかったもう一つの座光寺のグループ、おたまじゃくしさんもぜひ来年はあのステージに立てることを願っています。また、コーラスに少しでも興味のある皆さん!!ぜひ来年二月二十四日の午後、飯田市公民館に観に来ませんか?一緒に感動を分かちあえたら、と思います。

歌いやすいピアノ伴奏の桜井

(コールブリランテ 勝野)

公民館文化部主催 大人の体験教室

4年目を迎えた大人気講座

大人のテイステイング

三月三日
(土) 文化部
主催で、大人
の体験教室
「大人のテイ
ステイング」
が開催されま
した。

ソムリエの
浜島晃さん
を迎え、
ワインのテイ
ステイングを
するこの講座
は、今年で四
年目を迎えました。

例年大人気の講座で、今年も三十名を超える参加者が集まりました。

今年のテーマは、「平昌オリンピックで金メダルを取った国のワイン」と題して、フランス・ドイツ・イタリア・アメリカ・日本など六カ国七種類のワインが登場し、それぞれの解説と飲み比べを行いました。

例えば、平昌オリンピックスノーボード男子ハーフパイプでは、米シヨーンホワイト選手が「金」。日本の平野歩夢選手が「銀」でした。

これになぞらえて、アメリカ・カルフォルニアの「ダッ



ワインソムリエの浜島晃さん

クホーンシャルドネ2015（白ワイン）VS日本・塩尻の「NACシャルドネ2016（白ワイン）」の飲み比べ対決を行い、同じ品種のブドウから同じように製造されたワインでも、全然違う味わいになる事に会場から驚きの声があがりました。

浜島さんの解説によれば、土壌や日照によって、味は全く違うものになるのだとか。

このほかに長野でオリンピックが行われた年に醸造された、イタリア・カンパニーアの「タウラージ ラディーテ1998（赤ワイン）」は、さすが20年の熟成によって、渋みのある深い味わいで、会場の皆さんも絶賛。

最後は、大変貴重なワイン。フランス・ボルドーの「シャトー・ステュロー1999（白ワイン）」分類こそ白ワインで



すが、その琥珀色のお酒は、一定の気象条件の時にだけに稀に寄生する貴腐菌によってブドウの糖分が濃縮され、驚くほど甘くなる貴腐ワイン。これには、皆さんうっとりとしていました。

そして、ワインと共にある料理は、文化部の皆さんが当日の午前中から一生懸命準備してくださったもの。

様々なワインに合うように和・洋 肉・魚・野菜など全部で十二種類。ソースにもこだわって、おいしいワインをより一層引き立てました。

この教室の参加費は二千五百円。この予算の中でプロのソムリエが厳選するワインを楽しめるこの企画は大変お得だと感じました。

来年も開催しますので、皆さんぜひ注目してください。

麻績の里体験学校

まよめの会

育成部 勝野久美子

公民館育成部が主催する麻績の里体験学習まよめの会を一月二十七日に行い、今年度の活動を写真で振り返って模造紙七枚にまとめました。インフルエンザの流行等で参加者は少なめでしたが、素晴らしい活動の締め括りができました。その後、みんなでおにぎりを作り、女性育成部員の作った豚汁と共にいただきましたが、たくさんの方の体験に参加したお子さんへの表彰も行いました。



飯田市の天然記念物で日本に一本しかない珍しい桜、麻績の里舞台桜は座光寺の宝ですね。そんな桜を見に行くお客様が全国各地から訪れる頃、毎年『子ども桜ガイド』が活躍します。準備として桜の学習、おもてなしの心得、ガイドの練習もします。趣のある紺色のはつぴを着て座光寺の桜を元氣よく紹介していきます!!

座光寺の皆さんへ

未来へ繋げる

これが「ふるさと座光寺」風景写真募集のお知らせ

麻績の里ふるさと応援倶楽部では、座光寺の風景写真の募集をします。

2027年のリニア開通に向け、座光寺の風景は急激な変化を迎えようとしています。

今ある座光寺の美しい風景を後世に継承するために、次の事業を開催します。

① 伝えようふるさと画活動

▼現在の座光寺の街並みや果樹田園風景の写真を住民の皆さんから募集するほか、ドローンを利用した空撮なども行います。

② ふるさと写真展写真コンテスト

▼文化祭などで写真展写真コンテストの開催。優秀作品を用いて地区外へのPR活動に利用。

③ 資料データベース作成

▼収集した写真を保存するほか、貸出できるように整理データベース化を行う。

④ ふるさとを考える会開催

▼作成した資料を活用した学習会の開催

詳細は再度ご案内いたします。地域の皆様には、折に触れ、座光寺の風景の記録と、写真の提供にご協力をお願いいたします。

●お問い合わせ先

座光寺公民館
☎ 22-11401

座光寺の自然 シリーズ ⑪

散歩道の野草：春

春の野道を散歩するとかわいい草花が咲いています。思わず手に取って“名前は何ていうの？”と聞きたくなります。今回はそのお手伝い。4月～5月上旬に咲いている座光寺の野の草花を開花順に紹介しましょう。散歩に出なくても、見覚えのある花がたくさんあるのではないのでしょうか。多くは冬型一年草。他に二年草、多年草の草花です。



ナズナ



ホトケノザ



タネツケバナ



ヒメオドリコソウ



ヤエムグラ



ハコベ



セイヨウタンポポ



オランダミミナグサ



スミレ



オオイヌノフグリ



ムラサキケマン



タチツボスミレ



ブケナリアスミレ



オニタビラコ



イヌナズナ



オヘビイチゴ



カキドウシ



カラスノエンドウ



ケキツネノボタン



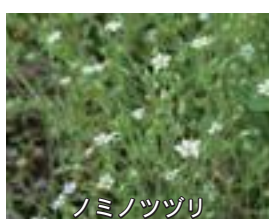
コオニタビラコ



タチイヌノフグリ



スズメノエンドウ



ノミノツツリ



アマドコロ



オニノゲシ



スイバ



ヘビイチゴ



ミミナグサ



ムラサキサギゴケ



クサノオウ

編集後記

土手のフキノトウも顔を出し、春の足音が次第に大きくなってまいりました。私が広報部担当になってから早いもので約一年が経過しました。

初めは広報部と聞いてピンときませんでした。活動に携わりながら『広報座光寺』ができるまでの過程を知ることができました。各行事に参加して頂いた方々、原稿の執筆をして頂いた方々、企画運営を行う公民館委員の方々など、座光寺の皆さんの絆の強さを改めて実感しました。

ご理解、ご協力ありがとうございました。
(広報H)

